



夢を寝かせる 育てる 叶える

PAKYU

1. 要旨

夢を寝かせる 育てる 叶える

私たちの多くは、大なり小なり夢を抱いています。一方で、夢を叶えるまでの道筋は誰もが見失いがちです。明確な将来設計をして、夢に向かって行動し続ける人の数はそう多くありません。夢を実現するための方法論は大きな課題の1つです。

スマートフォンアプリ**PAKYU**は、夢を「寝かせる」ことで、利用者の長期的な視点での夢実現を支援します。PAKYUと一緒に夢実現までのロードマップを描き、時には他者の夢を覗き、自身の夢を表明します。夢を持つあらゆる人のために、夢を寝かせる、育てる、叶える仕組みを提供することが本アプリの目的です。

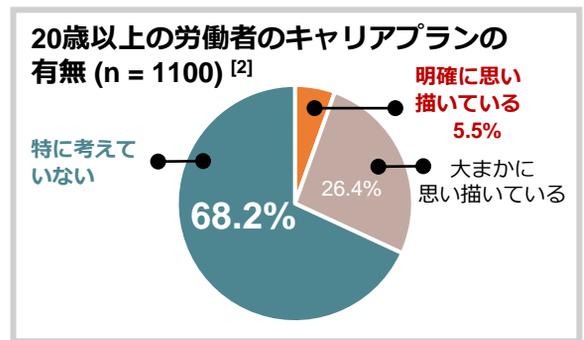
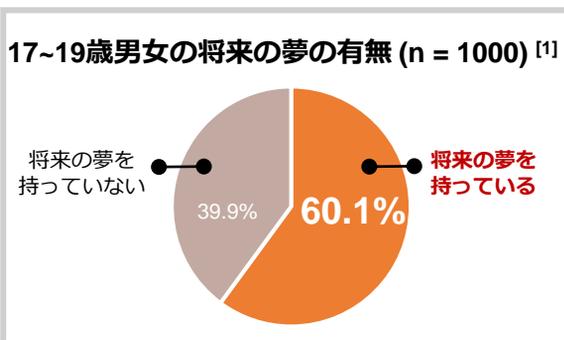
さあ、PAKYUと一緒にあなたの夢を叶えましょう

2. 背景

夢はあれど、将来設計は難しい

将来の夢を持つ人のうち、一体どれほどの人が夢実現までの道筋を具体的に思い描いているのでしょうか。日本財団の調査によると、2019年の17~19歳男女のうち、将来の夢があると回答した人は60.1%と過半数を超えました[1]。一方で公益財団法人日本生産性本部の調査結果では、2021年の20歳以上の労働者のうち明確なキャリアプランを思い描いている人は5.5%に留まり、68.2%もの人は特に考えていないことが分かりました[2]。以上の調査結果から、**夢はあれど具体的な将来設計をすることの難しさ**が夢実現の課題の1つになっていると考えられます。

そこで私たちは、**夢を持つ人たちが実際に夢を実現するまでの道筋をサポートする仕組み**を提案します。



[1]日本財団 「18歳意識 調査「第20回 社会や国に対する意識調査」調査報告書【日本】」
https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/11/wha_pro_eig_98.pdf

[2]公益財団法人 日本生産性本部 「第7回 働く人の意識に関する調査」
https://www.jpc-net.jp/research/assets/pdf/7th_workers_report.pdf

3. 提案内容

PAKYUと一緒にカンタン4ステップで夢を実現

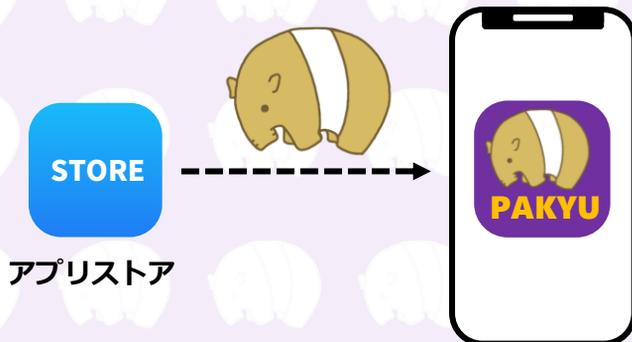
スマートフォンアプリPAKYUでは「夢を書き出す」「期日を決める」「道のりを描く」「他者に宣言する」という4つのステップに対応した機能を提供することで、利用者の夢実現をサポートします。



4. 取り扱い説明書

前準備. アプリをダウンロードしよう

PAKYUはスマートフォンアプリです。スマートフォンにアプリをダウンロードしてください。



あなたのスマートフォン

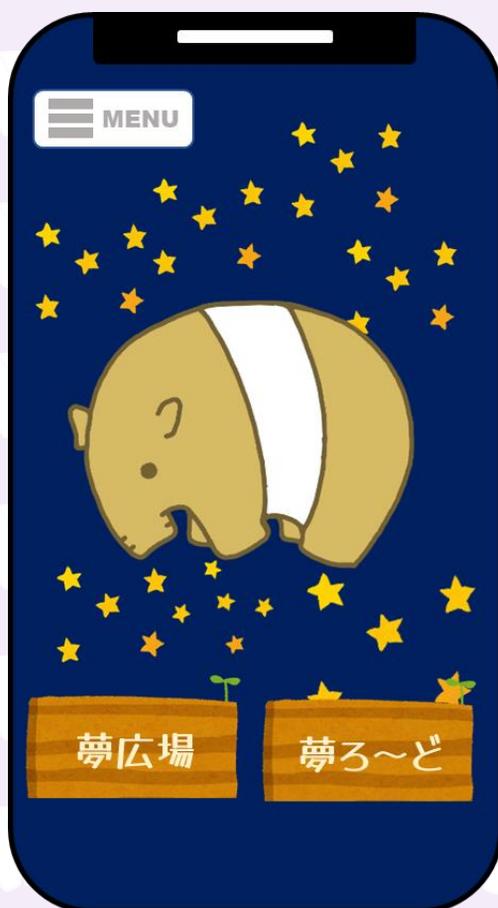
ホーム画面

PAKYUは「ホーム画面」「夢ろ〜ど」「夢広場」「基本設定メニュー」の4つの画面で構成されます。ホーム画面では夢を設定する事が可能です(STEP1,3)。また、ホーム画面から夢ろ〜ど、夢広場へ移動することで、夢実現のためのロードマップを作成したり(STEP3)、他ユーザーと交流することができます(STEP4)。

基本設定

- ・ユーザー名
- ・居住エリア
- ・通知設定
- ・サウンド

夢広場へ移動
(STEP4)



あなたの
PAKYU
(STEP1,3)

夢ろ〜どへ
移動
(STEP2)

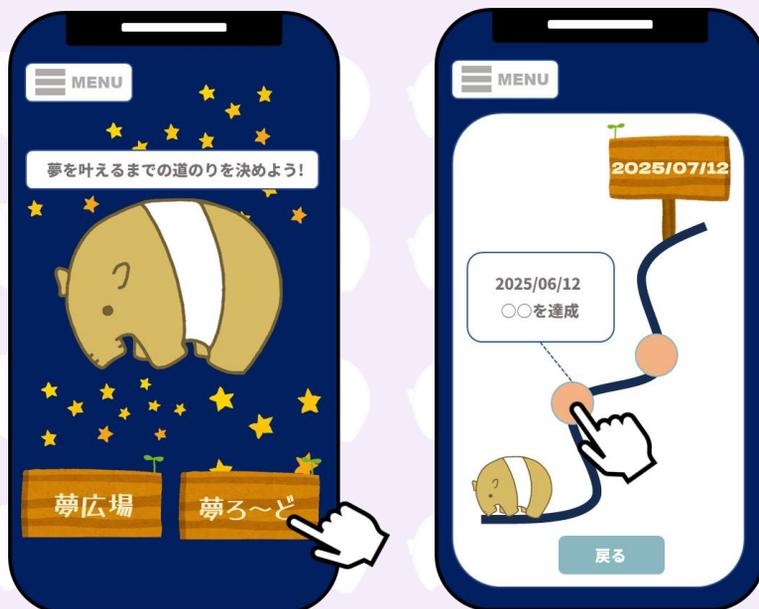
STEP1. 夢を設定しよう

はじめに、「あなたの叶えたい夢」「夢を叶える日時」を設定します。夢はいつでも再設定可能です。PAKYUと対話形式であなたの夢を教えてください。



STEP2. 夢ろ〜ど 夢実現までの道のりを設定しよう

夢実現までの道のりを設定します。夢を叶えるために達成すべき目標と達成する日付を決めましょう。設定した目標の達成日時が近づくとPAKYUが通知でリマインドしてくれます。



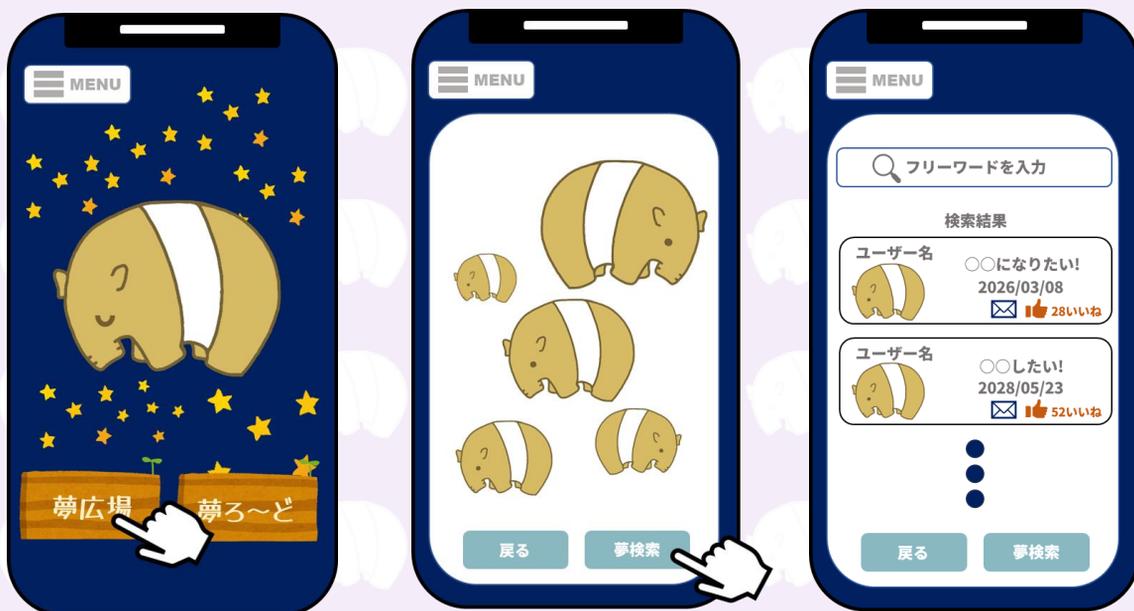
STEP3. PAKYUに夢を食べさせよう

設定した夢をPAKYUに食べさせてあげましょう。PAKYUは夢を食べると、夢を叶える日まで眠りにつきます。PAKYUが寝ている間も、夢を叶えるまでの日数や他のユーザーからのいいね等の通知を受け取ることができます。



STEP4. 夢広場 夢を共有しよう

夢広場では他のユーザーの夢を検索したり,メッセージやいいねを送ることができます。フレンド登録した他のユーザーのPAKYUはあなたの夢広場に表示されます。他のユーザーとの交流を通してあなたの夢を叶えましょう。



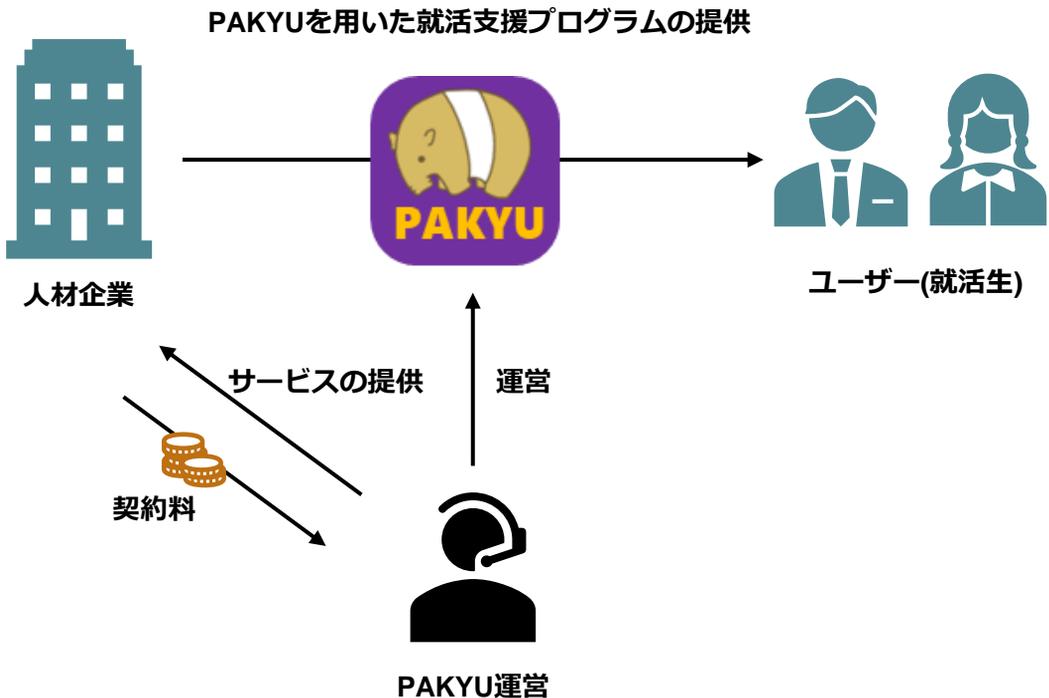
5. ターゲット

本サービスでは、夢を持つ集団として**18~22歳男女の就活生**をターゲットに設定します。これは、就活生の目的意識と本アプリの親和性に加え、用途を限定することで競合となり得るSNSとの差別化を図るためです。



6. ビジネス展開

就活生をターゲットとしてビジネスを展開する上で、私たちは就活ビジネスのノウハウを持ったパートナーとの連携が必要であると考えました。そこで、本サービスでは最終的に、**就活ビジネスを展開する人材企業との提携**を目指します。提携企業からの契約料を収益とし、就活生に対してサービスを提供します。



7. 最後に

就活ビジネスへの展開は本アプリの応用の一例です。PAKYUは、従来個人の手任されていた夢実現の方法を仕組化し、夢を持つあらゆる人のサポートとなることを目指します。

PAKYUは夢を持つ全ての人のパートナーとなります